

4. 身近な水環境の全国一斉調査

(1) 調査の概要

河川や水辺など身近な水環境の保全や再生に関する市民の意識が高まる中、1980年代半ばから、市民や学校の子供たちによる身近な川の一斉調査が多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきた。

平成16年からは、市民団体等が協働で全国の河川や水辺など身近な水環境の水質を一斉に調査し、「全国水環境マップ」としてとりまとめた結果を公表している。

平成28年の調査の概要は以下のとおりである。

表-28 身近な水環境の全国一斉調査の概要

	全国統一日に 実施された調査	国内で実施された 全ての調査	備考
調査日	平成28年6月5日(日)	平成28年5月12日 ～7月26日	—
参加団体数	345団体 (個人参加含む)	750団体	平成27年は 771団体
調査地点数	1,951地点	5,270地点	平成27年は 5,842地点

(2) 調査のまとめ

平成28年調査ではCODの水質結果では、全国のデータの割合がCOD0～3mg/L未満が24%、3～6mg/L未満が38%、6mg/L以上が38%となった。この結果は定点調査された水質結果だけに基づくものではなく、新規参加者の調査地点や従来の調査地点から変更したものも含めている。各地域によって天気や河川の水量等が違っていることから、それら地域的な特徴を勘案した上でそれぞれの水環境保全に役立てることが肝要であるといえる。

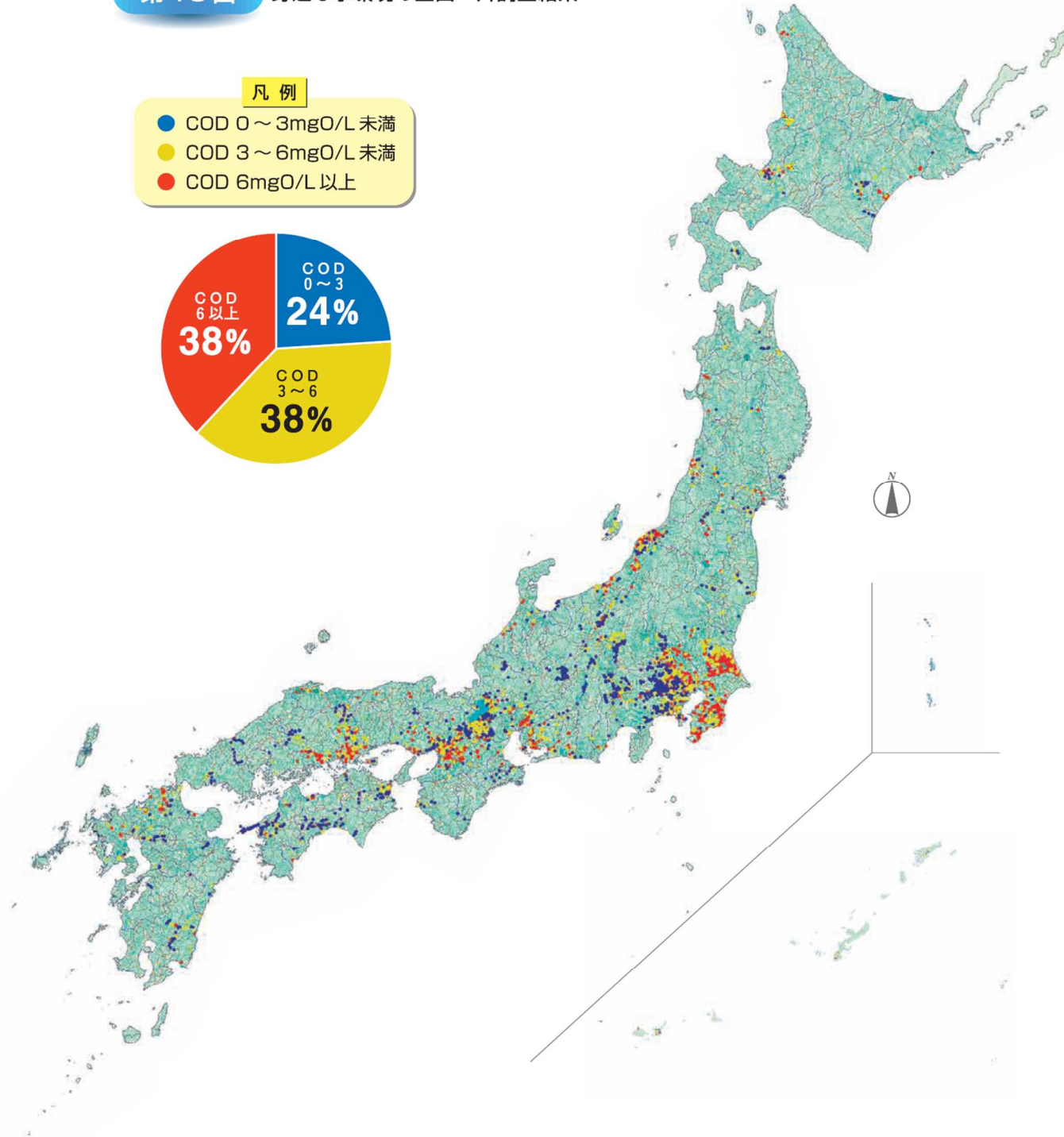
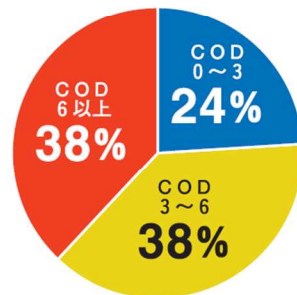
平成28年の全国水環境マップを図-26に示す。

2016全国水環境マップ

第13回 身近な水環境の全国一斉調査結果

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



2004全国水環境マップ

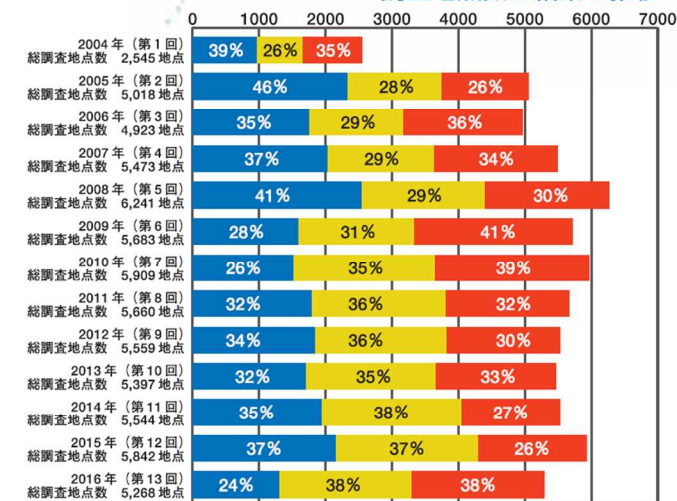
第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



調査地点数と結果の推移



- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

図-26 全国水環境マップ